

# 行ってききました！ やってみました！



企画したセミナーのウラ話、悲しかったこと、うれしかったこと、セミナーに参加した感想……などなど、お寄せください。  
あなたの感動をみんなで追体験したいのです。  
◎ブリコラージュ編集部  
FAX…03-5911-0771  
Email…brico@nanasha.co.jp

神奈川

## 被災地に紙芝居を贈りました！ 1月12日 [木] 片野トシ子

昨年秋に開催した地元自治会のフリーマーケットに参加した若葉会(後述)は、4万円の収益を得て、その半分を被災地支援に役立てることにしました。2万円、というささやかなお金は寄付したら消えてしまいそうで、何とか形あるものにできないか、近所の特養ホーム「金井原苑」の職員に相談してみました。私の夫(認知症)が世話になっていることや、広報紙で被災地の支援をしていることを知り親しみを感じていたのです。そして思いついたのが紙芝居のプレゼントでした。  
月刊ブリコラージュの紙芝居特集や、オムツ外し学会での遠山昭雄さんの実演に感動して4年ぐらいい前から紙芝居に取り組んでいま



朗読経験のある職員の実演にみとれるお年寄りとスタッフ

した。半年に一回ぐらい職場である「生活リハビリクラブ麻生」へ遠山さんをお招きするようになって足かけ3年になります。早速、遠山さんに舞台と拍子木を注文し、紙芝居は高齢者向け3冊(雲母書房)、子ども向け1冊(童心社)を取り寄せました。内容は次のとおりです。

### ●父のかお母のかお

戦争で両親を失いながらけなげに生きる姉弟と復員兵の物語

### ●峠の老い桜

何百年もの間、行き交う人々を見守ってきた峠の老い桜。戦争の足音に人々の暮らしと心は変わってゆきます。

### ●お茶にしましよ

暮らしの中の道具や食べ物を使ってことば遊び。楽しいお茶の時間を思い出します。

子ども向けは「てぶくろをかいに」

## 金井原苑の現地支援

特養ホームのほかに認知症対応の小規模デイサービス「桃の木停」を3か所運営している同苑は地域交流も大切にしています。パーキンソン病の患者グループの月例会や、高齢者向けに工夫をした真向法の体操教室に会議室を開放している心強い施設です。

広報紙によれば被災地支援は5月から7月にかけて宮城県の避難所・介護施設へ日帰りレクリエーション「かわさき・健康応援隊」の活動を6回行いました。被災者の生活拠点が避難所から仮設住宅へ移行していくなか、どのような支援ができるのか、9月に2日間の現地調査も行っています。

そして今回は1月12日にお願した紙芝居一式を車に積んで6名で出発しました。いずこも同じ人手不足の介護現場ですから日帰りの強行軍となりました。以下はリーダーの川内潤さんから聞き取った内容です。

出発は午前2時、現地(宮城県気仙沼市)に着いたのは10時頃。ケアハウス「ソレイユの丘」は海岸にありながら高い崖の上に建っていて津波の被害は免れた施設です。多目的ホールで同行した音楽ボランティアのピアノに合わせて歌や体操で楽しみました。その際持参してプレゼントした手づくり楽器は近隣(川崎市麻生区)の小学生から高校生につくってもらったペットボトルやガチャガチャを利用したものだったとか。紙芝居は時間がなくて残念ながら実演できず、私が地元で実演している様子をDVDにしたものを置いてき



贈られた手づくり舞台と実演した紙芝居を手に入れているみなさん

た、とのことでした。活動を終えて現地を出発したのが15時30分頃で、帰着したのがその日のうちの23時でした。

今回紙芝居のプレゼントにあたってお願いしたことは「はじめよう 老人ケアに紙芝居」という雲母書房の本をお貸しして、予備知識を得てから行ってください、ということでした。31歳の川内さんは、うれしいことに「これはとてもよい本」と思ってくださって、ご自分で一冊購入し、ケアハウスに寄付をしてこられたのです。

### 若葉会のなりたちと活動

私が住んでいる麻生台団地は947戸、築41年の古い団地です。17年前、自治会の役員をしたとき、組織率が70%以下となり、さらにどんどん下がる傾向になっていました。住民の高齢化が進んでいくにつれ孤立した方が寝たき

りや認知症になっていく危険性は目に見えていました。実際、日中一人になる80代の女性が息子が用意した食事に手を付けず、帰宅時に倒れているところを発見される、ということもありました。早めに状況をキャッチし、介護保険の利用に加えて近隣の見守り態勢をつくる必要があったのです。

行政だけに頼れない時代がくることにいち早く気づいたのは住民の中にいるヘルパーやケアマネジャー、ナースたちでした。広く呼びかけてグループをつくり「若葉会」と名づけました。15年目の活動に入り、ニュースの発行、月1回のおしゃべり会、ふえてきた認知症の方の見守りなどの活動をしています。被災地の支援にも一歩踏み出せたことをうれしく思っています。

